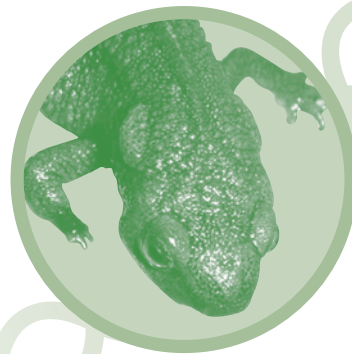
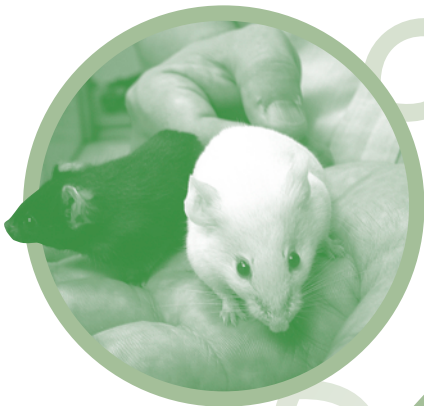


第1回全国生物学コンテスト 生物チャレンジ2008

募集要項

これまでの国際生物学オリンピック日本代表選考会が、新しく
全国生物学コンテスト「生物チャレンジ」として生まれ変わりました。



主催 国際生物学オリンピック日本委員会(JBO)

共催 筑波大学 茨城県 つくば市 筑波研究学園都市交流協議会
全国高等学校文化連盟自然科学専門部設立準備委員会
日本科学技術振興財団

特別協賛 科学技術振興機構

協賛 中外製薬株式会社

協力 はるやま商事

後援 文部科学省(予定)

1

生物チャレンジとは

「生物チャレンジ」は20歳未満で大学に入学する前の青少年の皆さんを対象とした全国規模の生物学に関するコンテストです。また、「生物チャレンジ」は、国際生物学オリンピック(※1)に派遣する日本代表選考を兼ねています。

「生物チャレンジ」には、「第一次試験」、「第二次試験」、「第三次試験」があります。はじめの「第一次試験」では、理論問題の試験を行い、約80名(ただしIBOの日本代表の選考も兼ねるので内30名以上は高校2年生以下とします。)を選抜します。成績上位5%の方には優秀賞が授与されます。「第一次試験」は、全国50ほどの会場で一斉に実施します(※2)。

「第二次試験」は、「第一次試験」の結果から選抜された80名が夏休みに一堂に集まる3泊4日の合宿形式で実施されます。IBOを考慮して作成された実験問題を中心とした試験および特別講義が行われ、80名の中から高校2年生以下の15名が選抜されます。成績優秀者には、金メダル(10名)、銀メダル(10名)、銅メダル(20名)が授与されます。そのほか、第二次試験の期間中には、第一線科学者との対話、最先端研究施設の体験、そして参加者同士の交流ならびに国際生物学オリンピック日本委員会委員(生物学研究者)との語らいを深める機会など試験以外の多彩なプログラムも織り込んであります。

「第三次試験」は、「第二次試験」で選抜された15名がIBOレベルの理論問題にチャレンジします。

第三次試験までの成績でとくに優秀な実力を示し、かつ国際生物学オリンピックの参加資格(※3)を満たす皆さんを日本代表として選抜し、さらに通信添削や合宿など研修の機会に参加してもらってスキルアップを図り、2009年7月に茨城県つくば市で開催される第20回国際生物学オリンピックに派遣します。

(詳細は、ホームページ<http://www.jbo-info.jp>をご覧ください。)

※1 「国際生物学オリンピック」(International Biology Olympiad : IBO) IBOは生物学の才能を有する学生を集め、彼らの才能を伸ばし、将来の科学者を育てることを目的としています。また、IBOは様々な国における生物の授業、教育傾向を比較する機会を提供しています。生物学教育を国家レベルで改善するうえで、有益な情報となります。

1985年から1989年、チェコスロバキアとポーランド間で現在のIBOの基礎となる最初の国際生物学コンテストが開催されました。自然科学および数学の国際オリンピックを実際に経験し、国際生物学オリンピックの開催を決定しました。その結果、UNESCOが旧チェコスロバキアに初回の開催を要請しました。賛同した6カ国(ベルギー、ブルガリア、チェコスロバキア、旧ドイツ民主共和国、ポーランドおよび旧ソビエト連邦)が1989年(プラハとブル)にIBOを創設し、1990年7月にオロモウツで第一回IBOが開催され、2009年には茨城県つくば市で第20回国際生物学オリンピックが開催されます。

※2 第一次試験の会場の詳細は、ホームページ(<http://www.jbo-info.jp>)参照。

※3 2009年7月の国際生物学オリンピック開催時に20歳未満で、かつ大学に在学していないこと。オリンピック参加が2回以内であること。



2

第一次試験の詳細

参加受付期間

2008年3月23日(日)～6月10日(火)

日 程

2008年7月20日(日) 13:30～15:00(90分)

結果のお知らせ

2008年7月下旬に郵送します。また、第二次試験に進んでいただく約80名(ただしIBO代表の選考もかねるので内30名以上は高校2年生以下とします。)の方には、その通知も併せて送ります。

参加資格

20歳未満で大学に入学する前の青少年の皆さんを対象とした全国規模の生物学に関するコンテストです。具体的には以下の方々を対象になります。

- ・高等学校、高等専門学校、中等教育学校、中学校の在籍者。
- ・高等学校卒業程度認定試験受験資格のある方、予備校生など

※ご質問がある方は国際生物学オリンピック日本委員会事務局

(電話 03-3212-8518 FAX 03-3212-7790 E-mail:jbo@jsf.or.jp)まで。

参加申し込み方法

ホームページにあるフォームに記入し、Webから登録、または「生物チャレンジ2008参加申込書」に必要事項を記入し、2008年3月23日(日)から6月10日(火)までの間に

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号 科学技術館内
国際生物学オリンピック日本委員会事務局 FAX 03-3212-7790

宛に郵送又はFAXしてください(6月10日当日消印有効)。

参加申込書は、申込者1人につき1枚記入してください。用紙が足りないときは、必要な部数をコピーまたはホームページからダウンロードしてください。

学校単位での受験に関しては、HPにある「生物チャレンジ2008参加申込書(学校単位)」に必要事項を記入し登録してください。原則Web上での登録手続きとなります。

第一次試験の問題・課題

第一次試験はマークシート方式による理論問題が課されます。高校低学年の生徒や中学生にも解ける比較的易しい問題を約20問と、思考力とやや高度な知識を問う問題を約20問、合計40問程度が出題されます。

過去問題及び参考となる図書については、ホームページを参照してください。(<http://www.jbo-info.jp>)

但し、昨年までは国際生物学オリンピックの日本代表を選ぶための試験として実施されていたため、今年から新しく始まった生物チャレンジ2008よりレベルが高くなっていますのでご注意ください。

出題分野

細胞生物学(20%)、植物解剖学と生理学(15%)、生態学(15%)、動物解剖学と生理学(20%)、行動学(5%)、遺伝学および進化学(20%)、生物系統学(5%)。カッコ内は配点割合を示す。ただし、年度により若干異なることがあります。

第一次試験会場の選択

第一次試験は、原則として居住都道府県内の高等学校または大学を会場とします。居住地域に会場が無い場合は、隣接する都府県の会場を受けていただくことができます。「参加申込書」の該当欄にこの条件を満たす希望の会場名を記入してください。ただし、自分の在籍校が会場となっている場合は、その在籍校を会場として記入してください。(会場詳細は、別紙またはホームページ<http://www.jbo-info.jp>参照。)

また、新たに「生物チャレンジ2008」から、1校あたりの参加者が30名以上の場合は、自分の学校を会場とすることができる「特例会場」を設けます。ただし、「特例会場」の申込みには窓口となる担当の先生が必要となり、原則Web上での登録手続きとなります。

3

第二次試験の詳細

日程

2008年8月21日(木)~8月24日(日)(3泊4日)

会場

筑波大学生物学類(茨城県つくば市天王台1-1-1)
(<http://www.biol.tsukuba.ac.jp/cbs/>)

結果のお知らせ

2008年9月上旬に郵送します。また、第三次試験に進んでいただく15名の方には、その通知も併せて送ります。

参加資格

第一次試験で選ばれた80名の方
または「生物チャレンジ」の参加資格を有し、かつ前年の国際大会に日本代表として参加した方

第二次試験の問題・課題

第二次試験は、IBOの実験問題を考慮して作成された実験問題を中心とした試験および特別講義等が行われます。また、4人から5人の一つのグループで、筑波大学の研究室に配属され、一日の研究体験をします。

プログラム

1日目 9:30 開会式
10:00 実験試験 1
13:00 昼食
14:30 実験試験 2
17:30 夕食
宿泊 二の宮ハウス



2日目 9:00 実験試験 3
12:00 昼食
13:30 実験試験 4
17:00 夕食
サイエンスカフェ(二の宮ハウス)
宿泊 二の宮ハウス



3日目 最先端研究施設体験
終日(筑波大学の20程度の研究室(4-5名/研究室)で一日研究体験をする)
夜 参加者と教員の懇談会
宿泊 二の宮ハウス



4日目 9:00 最先端研究施設体験
11:00 表彰式・閉会式
12:30 解散

※プログラムは変更になることがあります。

その他

- i) 第一次試験から第二次試験に進む80名は、保護者承諾書、健康調査表等の提出が必要です。
- ii) 第二次試験の2週間ほど前に、日程や集合場所への経路、持ち物、会期中の生活ルール等の詳細を記した「参加のしおり」を送ります。
- iii) 第二次試験参加者が自宅を出てから自宅に戻るまでの間を対象とした、国内旅行障害保険に主催者負担で加入します。

個人情報の使用と管理

国際生物学オリンピック日本委員会は、収集した生物チャレンジ参加者及びその保護者に関する個人情報を、適切な管理のもとに生物チャレンジ及び国際生物学オリンピックに関する業務に関するみ使用するものとします。

4

第三次試験の詳細

日程

2008年11月23日(日)

会場

科学技術館(東京都千代田区北の丸公園2-1)
(<http://www.jsf.or.jp/>)

結果のお知らせ

2008年12月上旬に郵送します。第20回国際生物学オリンピックの日本代表に選ばれた方には、その通知も併せて送ります。

参加資格

第二次試験で選ばれた方

第三次試験の問題・課題

第三次試験の出題分野は、第一次試験と同じですが、レベルはIBOと同等の問題が出題されます。

プログラム

試験実施の1ヶ月前までに参加者に郵送でお知らせします。

5

参加費

「生物チャレンジ」の参加費は無料です。ただし、第一次試験では、試験会場までの往復交通費は参加者の負担となります。第二次試験では、自宅から試験会場までの往復交通費は自己負担となりますが、試験期間中の経費(宿泊費、食費)は主催者が負担します。第三次試験では、自宅から試験会場までの間の往復交通費と試験期間中の経費(宿泊費、食費)は主催者が負担します。

6

表彰

第一次試験では、成績上位約5%の方に優秀賞を授与します。
第二次試験では、第一次試験、第二次試験の成績をあわせて上位10名に金メダル、10名に銀メダル、20名に銅メダルを授与します。

7

国際生物学オリンピック日本代表の選考

「生物チャレンジ2008」の成績優秀者の中から、2009年7月に茨城県つくば市で開催される第20回国際生物学オリンピックの代表を選考します。ただし、国際生物学オリンピックの規定により、オリンピック開催時点(2009年7月)現在20歳未満、かつ高等教育機関に在学していないこと、かつオリンピック参加が2回以内が条件となります。したがって、2008年夏に高等学校3年生の人は、2009年には大学等に進学していると思われるので、国際生物学オリンピック日本代表になることはできません。

ただし、生物チャレンジの各段階において撮影される写真、映像は、本事業の広報等の目的に利用されることがあります。また、入賞者の氏名と学校名は広報等の目的のため、公開を含めて利用することがあります。あらかじめご承知おきください。

生物チャレンジ2008に関する問い合わせ・書類送付先

国際生物学オリンピック日本委員会事務局

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1 科学技術館内

TEL : 03-3212-8518 FAX : 03-3212-7790

E-mail : jbo@jsf.or.jp URL : <http://www.jbo-info.jp>